

授業づくり よい授業を行う10のポイント

- 1 チャイムで始まり、チャイムで終わる。
 - 授業時間を保障する。教師が時間を守ってこそ時間を守る児童生徒が育つ。
- 2 児童生徒から視線を外さず、表情の変化を逃さない。
 - 児童生徒の行動や発言を見逃さない。目的をもった机間指導を行う。
 - 指名する場合は「さん」をつけて指名する。
- 3 授業の開始が勝負！
 - 導入で、本時の学習への期待感と見通しをもたせる。
 - 授業の「ねらい（課題）」を明確にする。
- 4 1時間の学びの過程が分かる板書計画を立てる。
 - 板書は適切な省略と焦点化をする。
 - 板書には児童生徒の意見を生かす。
- 5 児童生徒の「活動」する時間をきちんと保障する。
 - 教師の話聞く場面とノートに記入する場面を分ける。
 - ノート記入や問題練習の時間を確保し、時間の保障する。
- 6 視覚的、効果的に内容を理解させる。
 - ホワイトボードやプロジェクター、タブレット等を活用する。
- 7 明確な発問や説明、指示をする。
 - ことばを精選し、しゃべりすぎない。
- 8 文章で、語尾まではっきりと発表させる。
 - 語形をしっかり習得させる。
 - 声の大きさの基準を示す。
- 9 意図的に指名発表させる。
 - 一部の児童生徒だけで授業を進めない。意図的な指名が必要である。
- 10 全員の思考を深める。
 - 多様な解決方法を示す。肯定的な表現で、具体的に話す。

